

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOU NEXT大謝名		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 2日		R8年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		R8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフを多数設置しており、色々な視点で専門的な療育を提供ができること	理学療法士や言語聴覚士がいるため、困ったことに対しての話ができる。	専門職からの研修を実施してもらい、療育の質を上げていきたい。
2	地域移行に向けた療育を提供している。	体育のカリキュラムを確認しての療育や日本人独特の顔色を伺う、客観的視点の話をSSTを通して行なっている。	質の向上のために研修などを行なっていきたい。
3	児童が主体的に療育に取り組めるようにしていること。	ABAの理論やトークン法などを使用し、児童が自発的に療育に参加したり、主体的に取り組めるように取り組んでいる。	療育の種類をどんどん増やしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学童など地域との繋がりの少なさ	学童のスタッフなどと話をする機会が少なく、アポを取れない。	自立支援協議会などで会う機会を作り、一緒に活動できることがないのかなどを話をする機会を作りたい。
2	保護者会やZOOMなど、活動の報告や保護者の話し合いができる場の提供	今年からZOOM保護者会を無くしたことにより、保護者様の繋がりを作る機会が減少してしまった。	一定のニーズがあるため、ZOOM保護者会の再会を検討する。
3	保護者への情報共有 わからないの報告が多かったため。	一度説明しただけで満足してしまっているため、こまめに確認が必要だと感じた。	保護者に活動や加算の話などをする機会を増やしていく。